

NEWS INFORMATION TOPICS COMMUNICATION

NEWS

長崎県日中親善協議会

第

74

巻

発行／2018(平成30)年3月
長崎県日中親善協議会



中国福建省からの寄贈獅子像除幕式

《2018(平成30)年3月22日(木)》

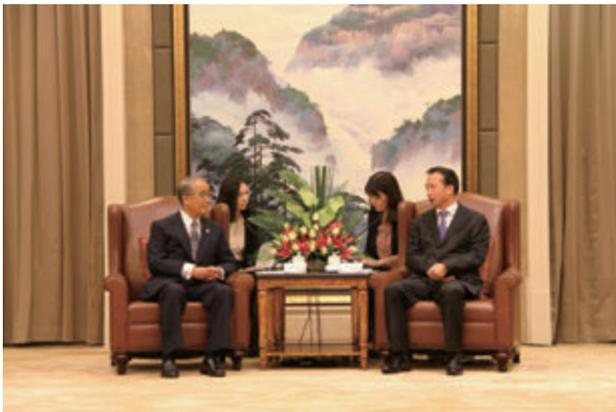
新県庁舎建設を記念し、福建省人民政府から獅子像(一対)が寄贈されました。

長崎県・福建省友好県省締結35周年

記念訪問団

2017(平成29)年10月、長崎県・福建省友好県省締結35周年を記念して、中村法道長崎県知事を団長とする記念訪問団(総勢88名)が、中国福建省を訪問しました。

福建省では、李徳金(り とっきん)副省長と会談し、李徳金副省長から相互発展のための協力のほか、海洋分野の協力、観光・文化面での交流、環境保全の協力という4つのご提案があり、中村知事は「今後とも、提案のあった4分野を含め、福建省との様々な分野にわたる交流を大きく発展させていきたい」と応じました。



李徳金 福建省副省長との会談



李徳金副省長と長崎県訪問団

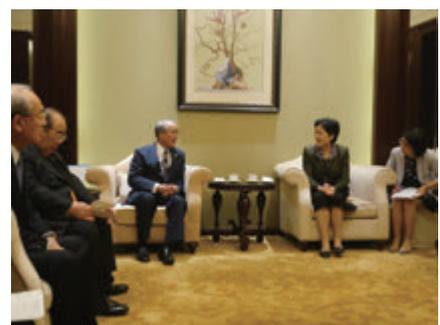
隠元禪師渡来の初登宝地である長崎と福建省との共催により、当時の日本に大きな影響をもたらした隠元禪師の功績を称えるため日中黄檗文化交流大会を開催し、日本茶道のお点前、少林武術演舞のほか、釈広智(しゃく こうち)福清市仏教協会常務副会長や近藤博道黄檗宗第62代管長、松尾法道興福寺住職など関係者にご参加いただき、黄檗文化国際シンポジウムなどが行われました。



主催者挨拶を行う
中村法道 長崎県知事



日本茶道(抹茶)お点前様子



李紅 副主席との会談

日中黄檗文化交流大会の開催に先立ち、中国人民政治協商会議福建省委員会の李紅(り こう)副主席と会見を行いました。

また、長崎県と福建省との今後の更なる交流の促進に向けて、長崎県で過ごした経験のある留学生・研修生をお招きして「長崎ゆかりの交流会」を開催したほか、100名を超える福建省の食品卸業者や飲食店、小売業者の皆様にご参加いただき、五島手延うどん、県産酒、陶磁器など県産品の販路拡大を目的に「長崎県産品商談会」を開催しました。



長崎ゆかりの交流会



長崎県産品商談会

このほか、中村知事は、世界遺産「武夷山」で有名な南平市を訪問し、岩茶工場の視察などを行いました。

福建省代表団来県

2017(平成29)年11月26日(日)、長崎県・福建省友好県省締結35周年を記念して、李徳金福建省副省長を団長とする福建省代表団一行が来県され、中村法道知事を表敬しました。また、長崎県において福建省の魅力を発信するため、県内の旅行業者、観光担当者などを対象に観光プロモーションが開催されました。



福建省観光プロモーション



(右 5 番目から)中村知事、李 徳金副省長、劉 亜明(りゅう あめい) 中国駐長崎総領事ほか福建省代表団の皆様

未来へつなぐ 日中青少年交流事業

日中国交正常化45周年及び長崎県・福建省友好県省締結35周年を記念して、中国駐長崎総領事館の支援を受け、県内大学生16名を上海市、北京市、福建省に派遣いたしました。

本研修では、北京市で開催された中日友好協会主催歓迎夕食会において、歴代の中国駐長崎総領事や40年前に日中友好「長崎県青年の船」に乗って中国に訪問した長崎耀華会の皆様と合流し、様々なお話を聞く中で、先人から脈々と受け継がれている長崎県と中国の友好の歴史を直に感じる事ができました。

また、中国人大学生との意見交換やホームステイ体験も行い、日中間の若者同士の相互理解を深める事ができました。

『中国』を自分の目で見て、耳で聞いて、体感して

長崎県立大学シーボルト校 4年 ^{うらかわ}浦川 ^{かえ}佳絵

「未来へつなぐ日中青少年交流事業」では、上海市・北京市・福建省を訪問し、街並みの見学や現地の学生との交流、ホームステイをしました。心を揺さぶられる出来事が多々あり、その感動は今も鮮明に思い出されます。本事業では2つのことを学びました。

1つ目は、『相手のことを知る』、『自分のことを伝える』、『寛容な心を持つ』ことが友好関係構築の要となることです。北京の学生と交流した際、彼らは日本の印象をありのままに教えてくれました。

私の中国に対する率直な意見にも真剣に耳を傾け、それを受け入れてくれました。彼らの正直で寛容な姿勢から、「関心」や「寛容さ」が相互理解につながることを実感しました。

2つ目は、「実際に自分自身で体験することの大切さ」です。訪中前、私は、中国（中国人）に対して良くないイメージを抱いていました。実際、ホームステイ先の家族は、「遠慮せずに食べなさい」と料理をたくさんふるまい、気さくに接してくれました。彼らは「日本人だから」と私を特別扱いせず、決して壁を作ることなく受け入れてくれたのです。彼らの懐の深さに感動しました。メディアの情報だけを信じるのではなく、自らの体験こそが真実なのだと感じました。

今後は、「自分の体験を身近なところで伝える」ことを日々心掛けたいと思います。「中国」の話題が出た時、公の場で話す時など、「機会」を大事にしたいです。そして、周囲の人が中国に関心を持つ「きっかけ作り」をしていきます。日本と中国の「つながり」に寄与できる一助になりたいです。今回、貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。



前列右から8番目 浦川 佳絵 さん

主催：長崎県

共催：中国駐長崎総領事館、福建省、長崎県日中親善協議会

日程：2017(平成29)年9月11日(月)～9月18日(月)

参加者：【長崎大学】

よしはら まさおみ やまぐち しんさく こうち まこと うちやま あんり
吉原 雅臣さん、山口 晋作さん、河内 真さん、内山 杏里さん

【長崎県立大学シーボルト校】

うらかわ かえ いまむら みさき いしばし さやか あたか ゆみ やました りか
浦川 佳絵さん、今村 美紗樹さん、石橋 沙也香さん、安宅 佑美さん、山下 莉加さん

【長崎県立大学佐世保校】

まつお あきら もりい ひろのり なかむら ゆうき かわはら あかり おおば りえ
松尾 瑛さん、森井 宏典さん、中村 優希さん、川原 朱理さん、大場 理恵さん、

【長崎国際大学】木村 綾佑さん

【長崎外国語大学】よしざき りく
吉崎 梨貢さん

はじめての訪中

長崎県立大学佐世保校 2年 おおば りえ
大場 理恵

私が初めて中国へ行って多くの人に一番に伝えたいと思うことは「中国は素敵な国である」ということです。本当に温かくて人情味があって大きな国だからこその多様な姿に日々魅了され圧倒された一週間でした。

私は、「未来へつなぐ日中青少年交流事業」で上海、北京そして福州の3都市に行きました。その都市ごとに違う雰囲気、気候そして食文化はとても面白く、楽しむことができました。

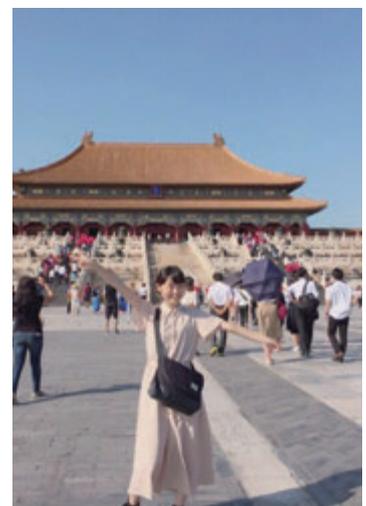
私は中華料理といえば麻婆豆腐に餃子というイメージでしたが、福州で食べたご飯は甘めの味付けで魚介類がふんだんに使われていて日本人好みの味で絶品でした。名物の魚丸はおすすです。また、フルーツはどの都市でもおいしくて、たらふく滞在中に食べました。

北京と福州では同世代の日本語学科の大学生と交流しました。大学生の方々は、とても熱心に日本語を勉強されていて私たちと日本語で普通に会話でき、様々な話をすることができました。そこで気づいたこととして国が違うから違うこともあるけれど、共通している部分も多くあるということです。それは、将来への悩みであったり勉強のことであったりといつも友達と話すような話題で盛り上がり、話しているときは国が違うなんて感じないほどでした。中国へ行き多くの出会いがあり、多くの友達ことができました。

彼らは、私たちにたくさんのおもてなしをしてくれ、思い出は私の宝物です。ひとつひとつの出会いに感謝し、中国にいる友達とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。今度会うときは私がおもてなしできるように、今中国語を猛勉強中です。

今回の訪中では、今まで知っていた、聞いたことある中国が現実の中国と非常に違い驚きました。また、長崎と中国そして日本と中国の深いつながりを知り、先輩方が繋いできた友好バトンを私たちが繋いでいこうと思いました。中国へ行くことで、より身近に大国中国を感じるようになりました。

きっと誰もが中国へ行くと素敵な部分を多く見ることができると思います。素敵な中国へ是非足を運んでみてください。



大場 理恵さん

2017年上海国際友好都市

長崎県では、1996(平成8)年10月に上海市と友好交流関係を締結し、文化、経済、観光のほか、青少年交流など多岐にわたる交流を行っています。

上海国際友好都市青少年サマーキャンプは、国際的な視野を広め相互理解を深めることを目的に、2010(平成22)年から毎年夏に行われ、上海市と友好関係を結んでいる世界各国・地域の都市から100名を超える青少年が一同に集まり、中国語学習や中国の伝統文化体験、スポーツなどの様々な活動を通して交流を深めています。日本からは、長崎県のみが招待されています。

上海サマーキャンプに参加して

長崎県立奈留高等学校 3年 つきがわ 月川 うみ 宇美

上海国際友好都市青少年サマーキャンプに参加し、多くの貴重な経験をさせていただくことができました。

まず私が驚いたことは、英語の上達に違いがあったことでした。私は、英語に自信があったのですが、実際に聞いて話すことがこれほど難しいとは思っていませんでした。そして、ほとんどの国が英語を当然のように話していたので、自分の力不足を痛感させられました。自分なりの英語を使って伝えたいことを伝えるのは、時間がかかりましたが、自分の思いが伝わった時の達成感は格別に嬉しかったです。上手ではなくても、自分の意思をなんとか伝えようとする心が大切なのだと感じました。

二つ目に感じたことは、日本文化の素晴らしさでした。外食の際、日本では冷たい水が必ず提供されますが、中国のレストランでは飲み物も全て有料でした。今まで当たり前のように感じていたことが、とてもありがたいことだったのだと感ずることができました。また、海外の高校生は日本のアニメや漫画に興味を持っている人が非常に多かったのも印象に残りました。日本の文化やおもてなしの心を大切にしていきたいと強く思いました。

青少年サマーキャンプを通して、不器用でも思いを伝えることの大切さと、日本の文化の素晴らしさを再認識することができました。今回のサマーキャンプで学んだことを活かしていきたいです。



前列右から2番目

青少年サマーキャンプ

主催：上海市教育委員会
 日程：2017年7月18日(火)～7月29日(土)
 参加者：長崎県立奈留高等学校 (学生5名)
 引率者 松本 康佑 先生
 1年 梁瀬 明日香 さん
 1年 浅田 紋奈 さん
 2年 松竹 伊緒梨 さん
 2年 城山 広美 さん
 3年 月川 宇美 さん



内容：中国語の学習、中国の伝統文化の体験、東方緑舟でのレクリエーション活動、博物館見学、中国武術体験、上海市内及び周辺都市の観光、ホームビジット等

上海サマーキャンプに参加して

長崎県立奈留高等学校 1年 ^{あさだ}浅田 ^{あやな}紋奈

上海サマーキャンプを通して私はたくさんのお話を学ぶことができました。特に学んだことは挑戦することの大切さです。キャンプに行く前はとても不安でした。初めての海外ということや英語でしか会話ができないこと、自分の英語が外国の人に通じるか等、多くの不安がありました。そのため、自分から積極的に話すことが最初はできませんでした。しかし、日々の活動の中で、他の国の人からたくさん話しかけてもらうことができ、キャンプの途中からは自分から話しかけられるようになりました。そして次第に、次はどんなことをしようかと、挑戦する気持ちが持てるようになっていました。自分から困っている人に話しかけたり、自分から外国のことについて聞いたりすることができました。もちろん、うまく伝えられなかったこともありましたが、私は、失敗しても挑戦できてよかったと思えました。最終日には、英語を話すことに対する抵抗感もかなり薄れていました。できるかどうか悩んで状況が変わることを待つより、どんどん積極的に挑戦して、間違えながら成長していく方が成長が早いと感じることができました。今回身をもって学ぶことができたことを今後の生活でも活かしていきたいです。そして、これからももっと英語を学び、スムーズなコミュニケーションが取れる人になりたいです。



2列目 右から2番目

日中国交正常化45周年記念 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

2017(平成29)年8月4日(金)から6日(日)までの3日間、中国オリンピックセンター体育館(北京市)で日中国交正常化45周年記念・日中友好交流都市中学生卓球交歓大会が行われました。

この大会には、日中両国の67組の友好都市と友好交流都市の268人の選手が参加し、友好都市同士で組んだチームが力を合わせて勝負に挑みました。

長崎県内からは、日本側では最多となる7チーム

(長崎県3チーム、長崎市、諫早市、大村市、平戸市)が参加しました。

長崎県チームは、福建省・上海市・湖北省の代表メンバーとチームを組み、長崎県・上海市チームが第2ブロック優勝、長崎県・湖北省チームが第3ブロック優勝など好成績を収めました。



日中平和友好条約締結40周年記念「歡樂春節」公演会

日中平和友好条約締結40周年及び春節(旧正月)を祝うイベントとして、2018(平成30)年1月11日(木)、長崎市民会館文化ホールにおいて、河南省舞踊団と少林寺武僧団からなる中国河南省文化芸術団による「歡樂春節」公演会が開催されました。

これは中華人民共和国文化部主催であり、河南省文化庁と長崎新華僑華人協会との共催により実施されました。この公演会は、中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎県日中親善協議会、長崎市、長崎華僑総会のご協力のもと円満に成功することができました。

オープニングの歌舞踊「平和と繁栄の時代を歌おう」においては、本場の少林寺の武僧の気迫溢れる少林カンフー、舞踊団メンバーは美しい舞踊とすばらしい歌曲を我々に披露してくれました。観客の皆様は、中国の伝統的な魅力を感じておりました。

琵琶演奏家である長崎新華僑華人協会会員の王維氏(長崎大学教授)は中国において有名な伝統的な琵琶曲の「十面の待ち伏せ」を演奏しました。また河南省舞踊団のメンバーは、王維氏とともにダンスを披露しました。

観客の皆様は武術少林寺拳法の「山門を破る」、二人舞の「大雁」、歌曲の「好運来」などの素晴らしいプログラムに感動し、絶えず大きな拍手がなりやみませんでした。

昨年、中国河南省文化芸術団が初めてNBCビデオホールにおいて公演された際には、スペア席も用意されるほど超満員の大盛況でした。そこで、今回の会場は、昨年よりも大きい会場ということで長崎市民会館文化ホールとなりました。

中華人民共和国駐長崎総領事劉亜明様をはじめ、長崎県文化観光国際部部長松川久和様、政策監田代秀則様、長崎華僑華人、長崎市民の皆様にご覧いただきありがとうございました。



河南省文化芸術団一行の出演は、長崎市民の皆様にご覧いただき中国伝統文化の魅力を感じ、さらには中国の国民が長崎県への友好の気持ちを届け、さらに中国伝統文化を鑑賞することを通して長崎県民の中国文化への理解がもっと深くなっていき、今後ますます長崎と中国の友好関係が深まっていくことを心より期待しております。

(長崎新華僑華人協会会長 劉震)

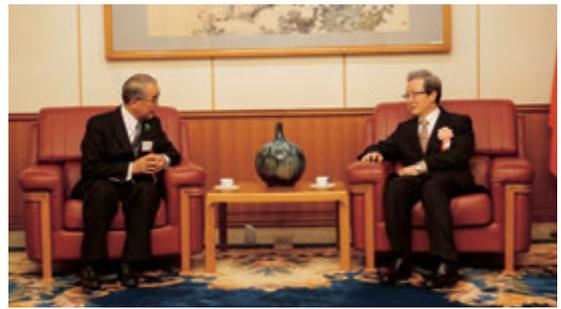
中華人民共和国駐日本国大使館との友好交流会

2018(平成30)年3月23日(金)、中華人民共和国駐日本国大使館において、同大使館、長崎県及び長崎県日中親善協議会の共催により、友好交流会を開催しました。

本交流会は全国の自治体でも唯一、長崎県だけが行っているものであり、大使館からは程永華大使ご夫妻をはじめ多くの大使館職員の皆様にご出席いただいたほか、長崎県からも中国と交流のある県内の自治体、経済界、大学関係者など各界の皆様にご出席いただき、懇親を深めました。

程大使は、「年に1度の中国大使館と長崎県との交流会を多くの大使館員が本当に心待ちにして楽しみに待っていた」、「この場で十分に交流をして、長崎県と中国大使館、長崎県と中国との交流強化が一層進むことを願っている」と述べられました。

交流会では、長崎県産のマグロを使用した解体ショーが実施され、大使館からは「長崎は今日も雨だった」の演奏が披露されるなど会場は終始和やかな雰囲気になりました。今後も引き続き、大使館の皆様と連携を図りながら、長崎県と中国との友好交流推進に励んでまいります。



交流会前に談笑する中村法道知事(左)と程永華大使(右)



中村法道知事による挨拶



大使館による「長崎は今日も雨だった」演奏



長崎県産マグロを使用した解体ショー

「第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル」

2017(平成29)年10月29日(日)、長崎市出島町の出島交流会館において第19回ながさき国際協力・交流フェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、国際化を広く地域社会と県民に浸透させ、国際交流の草の根のすそ野を広げていくことを目的に、1999(平成11)年から毎年開催されています。

今年は、台風22号の接近により、お楽しみの屋外料理ブースが中止となりましたが、県内の国際協力・国際交流団体など30団体が出展し、1,300名を超える参加者がありました。



参加団体の各ブースでは、活動展示やフリーマーケット、海外手工芸品の販売などに多くの来場者が訪れました。

当協議会では、中国面白クイズや中国語会話などを長崎県立大学シーボルト校研修員の張 国峰さんや中国東方航空長崎支店の西山さんにもお手伝いいただき協議会ブースを盛り上げていただきました。



第44回中国人墓地清掃

2017(平成29)年9月18日(月)敬老の日、当協議会主催で、毎年恒例の中国人墓地清掃を行いました(稲佐悟真寺国際墓地内)。

この行事は、1974(昭和49)年から始まり、今回で44回目を迎えました。

当日は、台風一過でお天気にも恵まれ劉亜明中国駐長崎総領事をはじめ、長崎県日中親善協議会会員、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、中国人留学生、研修員、高校生、企業、団体など約250名のボランティアの方々に参加していただき、雑草を刈る人、袋に詰める人、運ぶ人など、それぞれに分担作業を行い、約1時間半の清掃作業に汗を流しました。草に覆われた墓地も見違えるほどきれいになりました。皆様、本当にありがとうございました。

当協議会では、今後とも中国人墓地清掃活動を続けていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。



清掃活動の様子

〈主な参加協力団体〉

中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎県日中親善協議会会員、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、中国東方航空長崎支店、(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会、(一社)長崎青年会議所、長崎女子商業高等学校、三菱電機グループ、(株)十八銀行稲佐支店・稲佐中央通支店、(株)親和銀行地域振興部、(株)西日本シティ銀行、長崎外国語大学、長崎県立大学シーボルト校、大黒町青年会、長崎ヤクルト(株)、長崎県、長崎市(その他、多くの皆様にご協力いただきました。)

第6回長崎県日中親睦卓球交流大会

2017(平成29)年12月2日(土)、三菱重工総合体育館において、第6回長崎県日中親睦卓球交流大会を開催しました。本大会は、長崎新華僑華人協会の呼びかけで始まり、今年で6回目となりました。

大会には、自治体、県内企業、留学生、中高生等約130名が参加し、上級、中級、初級クラス別団体戦を実施。今回、初の中国からの参加チームも増え、熱いバトルが繰り広げられました。参加者の皆さんは、気持ちのいい汗を流しました。



試合の様子

〈結果〉

A(上級の部)

優勝 長崎SST-A
準優勝 新華僑華人協会A
3位 浙江省嘉善県卓球協会A(中国)

B(中級の部)

優勝 浙江省嘉善県卓球協会B(中国)
準優勝 長崎SST-B
3位 長崎県立大学

C(初級の部)

優勝 長崎上海クラブ
準優勝 浙江省嘉善県卓球協会C(中国)
3位 遊友クラブ



中国からの留学生及び研修員の交歓会

2018(平成30)年1月21日(日)、長崎市内のボウリング場において、廖宏伟中国駐長崎総領事館領事をお迎えし、県内の各大学の中国人留学生及び研修員、当協議会会員、総領事館員の皆様も含め、約80名の方々にご参加いただきました。

今回、初めてボウリングを体験する留学生や研修員は、同じチームである協議会会員に手ほどきを受け、一球、一球、投球のたびに歓喜の声があがりました。

ボウリングの後の交歓会会場では、各円卓で会話が弾むなか、恒例のビンゴゲーム大会も行われ、大いに盛り上がりました。皆さん！お疲れ様でした。



参加者のみなさん

中国からの長崎県海外技術研修員の受入れ

長崎県は、毎年、本県と密接な関係のある国から優秀な青年を受け入れ、派遣国の発展に寄与する人材を育成する「長崎県海外技術研修員受入事業」を実施しています。

研修員の皆さんには、技術を修得するだけでなく、県内の文化・社会・経済について学んだり、県民の皆さんと交流していただく機会を設けており、将来的には派遣国と本県との友好親善・経済交流を促進する役割も務めていただきたいと期待しています。

1973(昭和48)年の事業開始後、受入れた研修員は延べ423名、この内、中国から受入れた研修員は172名です。今後も、歴代の研修員を通じ、各国との友好交流関係を更に深めてまいります。



市内研修 (鍋冠山公園)

左から

チャン ティトウイ チャンさん (ベトナム)

やすなが ゆきお
安永ホビソン幸夫さん (ブラジル)

さいこくよう
蔡国耀さん (中国上海市)

とうふよう
唐芙蓉さん (中国湖北省)

日中平和友好条約締結40周年記念

第38回長崎県中国語コンクール



受賞者の皆様

2018(平成30)年3月3日(土)、長崎歴史文化博物館ホールにおいて、第38回長崎県中国語コンクールを開催しました。

本コンクールは、1979(昭和54)年の長崎～上海間定期航空路開設を記念した「長崎県中国語弁論大会」から始まり、1980(昭和55)年から毎年開催しています。初級の部(課題文朗読)に15名、上級の部(中国語によるスピーチ)に9名、計24名の方が出場し、日頃の学習の成果を競い合いました。

【初級の部】(一般の部および学生の部)

最優秀賞 (一般) 森川 彩子(長崎市) (学生) 金子 皓介(壱岐高等学校2年)

優秀賞 (一般) 松永さおり(長崎市) (学生) 河浪 一星(諫早商業高等学校2年)

【上級の部】最優秀賞 砂川 美穂(長崎県立大学シーボルト校3年)

優秀賞 福田 渚(長崎県立大学佐世保校2年)

【敢闘賞】西島 菜純(壱岐高等学校2年)

【特別賞】(中国総領事館賞) 池上 和芳(長崎市)

長崎県中国語講座

当協会の中国語普及促進事業の一環として開催しているこの講座は、これまで多くの県民の皆様が受講され、中国語の勉強を通じて、隣国に対する理解と関心を深めてきました。

授業は受講者のレベルに応じ、クラスに分かれて開催しており、発音、文法、日常会話、リスニング、文章の読解などを学んでいます。

現在、長崎会場と佐世保会場にて2018(平成30)年度の講座受講生を募集しております。中国に興味のある方、もう一度中国語にチャレンジしてみたい方など、皆様のご参加をお待ちしております。



シーサンパンナ民族博物館

長崎会場

開講期間：2018(平成30)年4月14日～翌年3月

開講時間：【入門】毎週土曜日 13:00～14:00

【初級】毎週土曜日 14:10～15:30

【中・上級】毎週土曜日 15:40～17:00

開講場所：長崎県勤労福祉会館(長崎市桜町)

受講料：半年12,000円、年間24,000円

(年会費3,000円、テキスト代実費)

講師：徐 静(じょ しずか) 上海市出身

連絡先：095-832-2878

佐世保会場

開講期間：【入門・初級】2018(平成30)年5月8日～翌年3月

【中級】2018(平成30)年5月10日～翌年3月

開講時間：【入門】①毎週火曜日 19:50～21:10

【初級】②毎週火曜日 18:20～19:40

【中級】③毎週木曜日 18:30～19:50

開講場所：①②中央公民館(常盤町)

③山澄地区公民館(潮見町)

受講料：年間20,900円(年会費3,000円、テキスト代実費)

講師：趙 麗(ちょう れい) 南京市出身

連絡先：0956-25-9647(佐世保市国際政策課内)

長崎との絆

長崎県立大学シーボルト校研修員（福建省寧徳師範学院教師）ちょうこくほう張国峰

2017(平成29)年5月15日に長崎に来ました。長崎との絆はその日に始まりました。2017年5月から2月末まで長崎県立大学シーボルト校国際情報学部で研修をしていました。今度の研修の機会に、大学時代から憧れていた日本への留学という願いがついに叶いました。また、古くから対外交流の玄関口として発展してきた長崎でしか味わえない和華蘭文化を満喫できました。大変ありがたい体験となりました。

シーボルト校では前期と後期併せて、長崎の産業と歴史、アジア文化論、国際情報論、日本外交史、国語など17科目を履修しました。大学時代と全然違ったカリキュラムの雰囲気を感じました。また、初めて日本の大学生や米国、タイ、ベトナム、韓国の留学生とともに講義を受けて自由な交流やグループ討論や発表をしたりして様々な考えを知ることができました。大変ありがたい勉強をさせていただきました。なお、下野教授のご指導の下で、近年注目を浴びている中国人観光客による爆買い現象をテーマにして所得増とビザ緩和、国民同士の相互理解という面から分析してみました。下野先生のおかげで、レポートを予定通りに提出できました。

授業を受けると同時に、県主催の様々なイベントにも参加させていただきました。6月に平和公園と原爆資料館を見学しました。被爆者の物語や映像を通して平和の尊さと戦争の怖さ、残酷さが伝わってきました。心の中で黙とうをささげて犠牲者の冥福と恒久平和を祈ってやみません。6月12日に孔子廟の愛無涯石碑の除幕式に参加しました。6月13日に長崎県日中親善協議会の2017年度総会で「知られざる福建」というテーマで講演を行い、空海ゆかりの赤岸や寧徳のジオパークといった日本の方々には普段あまり知られていない福建省のことを紹介いたしました。

8月に、日中「孫文・梅屋庄吉塾」にも参加して、孫文と梅屋庄吉ご夫妻の友情から深く感銘を受けました。日中の将来を担う若者同士の交流を天国から見ている孫文先生も梅屋庄吉ご夫妻も微笑みながら喜んでいるだろうと思います。また、オブザーバーとして日中韓トライアングル交流会にも加わりました。

9月に、長崎県日中親善協議会主催の第44回中国人墓地清掃活動、中華人民共和国駐長崎総領事館主催の建国68周年記念祝賀会にも行きました。改めて長崎と中国の友好関係の深さを感じました。10月に有名な長崎くんちも満喫できました。そのパフォーマンスと迫力、会場の熱気と観衆の声援はとにかく圧巻としか言えなかったと思います。11月に、福建省代表団の来訪を迎えました。歓迎レセプションと観光プレゼンテーションにも加わり、長崎県と福建省の深い友情と長い交流の歴史を感じておりました。まったく中村法道知事がおっしゃったように、長崎県と福建省は遠い親戚のようです。

2018(平成30)年1月に、長崎県日中親善協議会主催の中国人留学生及び研修員の交歓会に参加して、人生初のボーリングの試合を楽しみました。また、公益財団法人長崎県国際交流協会様のおかげで、雲仙市脇坂様のお宅でホームステイを体験させていただきました。

様々なイベントを通して長崎ならではの和華蘭文化に対する理解を深めることができました。なお、日中友好交流事業に取り組まれている長崎県の方々には心より敬意を払いたいです。

時間の経つのが早いものです。長崎の地に踏み入れた時のわくわくした気持ちはまだはっきり覚えています。あっという間に研修がそろそろ終わりますので、何か名残惜しい、悲しい思いで胸がいっぱいになります。しかし、この大切な絆をいつまでも忘れず、より強いものにしようと考えております。

帰国後、長崎県立大学シーボルト校で学んだことを日本語の教育現場に活用してみたいと思います。また、体験した長崎のこと・日本のことを客観的に大学生たちに語ることで、日本語や日本のことに対する理解を深めてもらえるよう頑張ります。なお、長崎県と福建省の友好交流事業をより一層推し進めるために、小さな架け橋として草の根レベルで力を尽くしていきたいです。



「北京留学」

長崎県国際課主事

ふじの さとし
藤野 聡

皆さん、はじめまして。2017(平成29)年9月から北京市の北京語言大学にて語学研修中の藤野と申します。

北京語言大学は外国人向けの中国語教育で非常に有名であり、経験豊富で優秀な講師が多くいます。私のクラスはアジア・ヨーロッパ・アフリカ・中南米等17か国24名で構成され、中国語はもちろん、英語・西語・仏語などが飛び交う国際色豊かなクラスです。

北京の冬はとても寒く、時には-15℃ぐらいまで気温が下がり、長崎人にはとても辛い環境です。しかし、北京の人たちの心はとても温かく、レストランや銀行、地下鉄の駅など生活のあらゆる場面で言葉のつたない日本人をサポートしてくれます。日本とのサービスの違い・習慣の違いに戸惑うことも多いですが、それでも彼らはとても親切です。

残念ながら北京における“長崎”の認知度はまだまだ高くありません。これから、語学はもちろんのこと、中国の人たちの習慣、生活、興味・関心など様々なことを学び、理解し、少しでも交流を深めていくためのお手伝いができると思います。



前列右から 2番目

突撃！隣の国の中華飯

長崎県国際課 主事 つつみ けんたろう
堤 賢太郎

皆さんこんにちは。2017(平成29)年9月より語学研修生として中国福建省福州市に派遣されている堤と申します。突然ですが、長崎県民は中華料理を食べる機会が多いと思います。中華料理を食べている時に、「本場中国の中華料理は美味しいのだろうか？」と一度でも疑問に思ったことがある方はいらっしゃいませんか？私はそのような素朴な疑問を抱いていた一人でした。中国で生活するようになり毎日毎日中華料理を食べているわけですが、毎日食べてもまた食べたくなる美味しさであり、中国に来て半年近くになりますが、毎日三食中華料理を食べています。そこで



右から4番目

今回は、地元の人がよく食べるおすすめ中華料理を三つ紹介したいと思います。

まず一つ目は荔枝肉です。荔枝は果物のライチのことですが、この料理にライチが使われているわけではありません。一説によると、使用するヒレ肉(中国語で里脊肉がライチと似ている発音のためこの名前になったとか。この料理は福建省福州市の伝統料理であり、200年以上の歴史があります。ケチャップ、香酢、白砂糖、醤油等で味付けしてあり、甘酸っぱい味が特徴的で日本の酢豚の味に似ています。

続いて二つ目は西红柿炒鸡蛋です。西红柿はトマトのことで、鸡蛋は鶏の卵のことです。トマトと卵を油で炒めるだけのシンプルな料理ですが、これがとても美味しいです。中国の家庭料理の一つらしく、仲良くなった中国人の友達に得意料理を尋ねると、この料理をあげる方が多いです。

最後に三つ目は干煸四季豆です。干煸は調理法の一つであり、鍋の中に汁気がなくなった状態で炒めることで、四季豆はインゲン豆のことです。インゲン豆は江戸時代に、日本の黄檗宗開祖である隠元禅師によって中国から日本に伝わったそうですが、中国のインゲン豆は日本のより実が大きくて食べごたえがあります。唐辛子と一緒に炒めてありますがあまり辛くなく、白ご飯によく合います。



今回ご紹介した料理以外にも火鍋、拉面、水餃子、スープ、魚料理など美味しい料理はまだたくさんあります。皆さんもぜひ、本場の中華料理を食べに中国へ遊びに来てみてください。食べ物のことについて書いていたらお腹が空いてきたので、もぐもぐタイムに行ってきます。もちろん食べるのは本日も中華料理です。それではまた、再见！

廖宏偉(りょう こうい) 中華人民共和国駐長崎総領事館領事 離任

2018(平成30)年3月18日(日)に、廖宏偉中国駐長崎総領事館領事が離任されました。

廖領事には、2013(平成25)年12月にご着任されて以来、4年2ヶ月の間、領事を務められ、ご在任中は、当協議会の行事などに積極的に参加していただくなどご支援、ご協力に対し厚くお礼を申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



崔龍(さいりゅう) 中華人民共和国駐長崎総領事館 領事 着任



2018(平成30)年2月27日(火)に中国駐長崎総領事館領事として、崔龍領事が着任されました。

中村知事への着任挨拶では、「長崎は初めて来ましたが、歴史、近代化産業、国際交流、観光などの印象があります。これからさまざまな分野を学んでいきたいです。」と抱負を述べられました。

【崔龍領事の略歴】

【生年月】 1973年4月

中国吉林省生まれ

【出身大学】 西南交通大学 卒業

【主要略歴】

1997-2001 四川省成都市対外友好合作服務中心 科員
 2001-2002 韓国慶尚北道金泉市 国際交流員
 2002-2004 韓国京畿大学 デジタル経済学修士
 2004-2011 四川省成都市外事服務中心 主任
 2011-2015 四川省成都市外事弁公室 副処長
 2015-2018 四川省成都市人民対外友好協会 秘書長
 2018- 中国駐長崎総領事館 領事

中華人民共和国駐長崎総領事館副領事離任・領事アタッシェ着任

2017(平成29)年7月、孔蘊宝^{こういんぼう}中国駐長崎総領事館副領事と張坤杰^{ちょうこんけつ}領事アタッシェが離任及び着任挨拶のため文化観光国際部を訪問しました。

孔蘊宝副領事は、2015年6月1日付で領事アタッシェとして着任され、その後副領事として約2年間勤務されました。次の勤務地は、中国駐名古屋総領事館です。張坤杰領事アタッシェは、2016年に中国外交部に入り、初めての外国赴任地が中国駐長崎総領事館となりました。長崎での勤務に対する期待と今後の抱負が述べられました。



孔副領事(前列中央右)・張領事アタッシェ(前列右端)

西暦 2018年(崇福寺・華僑関係) 行事表

行事名称(旧暦月日)	新暦月日	摘要
春節 1月1日	2月16日(金)	旧暦正月 ランタンフェスティバル初日
關聖帝君飛昇 1月13日	2月28日(水)	崇福寺 關帝祭
元宵 1月15日	3月2日(金) 3月4日(日)	崇福寺・唐人屋敷 燈籠祭 ランタンフェスティバル最終日
福德正神千秋 2月2日	3月18日(日)	唐人屋敷 土神祭
觀世音菩薩仏辰 2月19日	4月4日(水)	唐人屋敷 観音祭
稲佐国際墓地・清明節 3月2日	4月17日(火)	悟真寺
崇福寺・清明節	4月5日(木)	崇福寺
天上聖母生誕 3月23日	5月8日(火)	崇福寺・唐人屋敷 媽祖祭
關聖帝君生誕 6月24日	8月5日(日)	崇福寺・唐人屋敷 關帝祭
普度蘭盆勝会(ポール) 7月26日・27日・28日	9月5日(水) 9月6日(木) 9月7日(金)	中国盆 施餓鬼 大法要
大成至聖孔子生誕 9月28日	9月最終土曜日 (9月29日)	積奠典礼(孔子生誕祭) 2569年祭
中華人民共和国成立記念日 国慶節	10月1日(月)	建国69周年

※長崎ランタンフェスティバルは2月16日(金)春節から3月4日(日)まで開催。

※過九節 3月16日(金)旧暦1月29日

※中秋節 9月24日(月)旧暦8月15日

長崎

月曜日
金曜日

上海
(浦東空港)

13:20発 ←(MU520便)→ 14:05着
12:25着 ←(MU519便)→ 9:30発
(すべて現地時間での表示)

 中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは
〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル4階
TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539



そのお客様だけの上質で価値ある旅を。

ご宿泊から各種パーティー・会議・ご会食まで、それぞれの場面にふさわしい心あたまるおもてなしでお迎え致します。

ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
〒850-0931 長崎市南山手町1-18
Tel 095-818-6601
www.anacrowneplaza-nagasaki.jp


ANA
CROWNE PLAZA
NAGASAKI GLOVER HILL

30

届けたい感謝の気持ち
ありがとう30周年

Hotel new nagasaki 30th anniversary



HOTEL NEW NAGASAKI 〒850-0057 長崎市大塚町14番5号
ホテルニュー長崎 TEL 095-826-8000(代)
http://www.newnaga.com

facebookページはじめました



旅の
お
得
な
情
報
お
届
け
し
ま
す

いいね!

でフォロー
お願いします

日中悠友旅行

検索



日中悠友旅行(株)

〒850-0036
長崎市五島町5番36号

☎095-811-0108

~あふれるおもてなしでお客様の旅をお手伝い~



事務局紹介

2018(平成30)年3月1日

事務局長 (文化観光国際部国際課長)	大安 哲也
事務局長次長 (// 国際課総括課長補佐)	江口 信
事務局書記 (// 国際課課長補佐)	坂口 育裕
// (// 国際課係長)	本多 良成
// (// 国際課主事)	前田 理華
// (長崎県日中親善協議会書記)	大坪 優子
// (//)	徐 静

★お知らせ/新県庁舎移転に伴い、平成30年1月29日(月)から下記の住所へ移転しました。